

バージョン管理ツール

PVCS Version Manager

PVCS Version Manager は、強力なセキュリティ機能による高い信頼性とシンプルな操作性に定評のあるバージョン管理・構成管理ツールです。ドキュメントやソースコードなどソフトウェアの開発工程で発生する様々なファイルとそのバージョンを一元管理することにより、効率的な開発の進行と高品質なアプリケーションのリリースを支援します。

製品の特長

1. ソフトウェア開発資産の集中管理とバージョン管理 作業の効率化

適切なバージョン管理は、不具合発生時の原因究明作業やヒューマンエラーを削減し、開発工程の効率化に役立ちます。PVCS Version Manager は、修正履歴の管理や複数ファイルの比較、マージ機能など、バージョン管理に必要なすべてのコンポーネントをまとめて提供します。シンプルで使いやすい PVCS Version Manager は、人力に依存しやすい小規模な開発チームのバージョン管理の整備に適しています。また、ベースラインによる構成管理機能も搭載しており、ソフトウェア開発で発生する各種リソースの整合性ある集中管理と、管理作業の効率化を支援します。

2. セキュアなソフトウェア資産管理

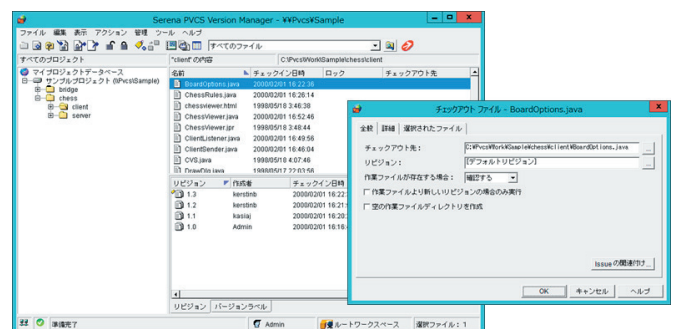
バージョンを管理するだけでなく、ファイルに対しての権限をコントロールすることにより、ソフトウェア資産を保護します。PVCS Version Manager では、読み取り、書き込みといった大まかな権限ではなく、“最新バージョンだったら変更できる”、“ラベルを付与できる”などの詳細な権限の割り当てができます。また、グループに対してセキュリティを設定することで、チーム間でのセキュアな運用にも役立ちます。ユーザー認証では、シングルサインオン（SSO）や共通アクセスカード（CAC）もサポートし、強固なセキュリティで安全性の高いソフトウェア資産管理環境を維持します。

3. 監査に有用なログ機能

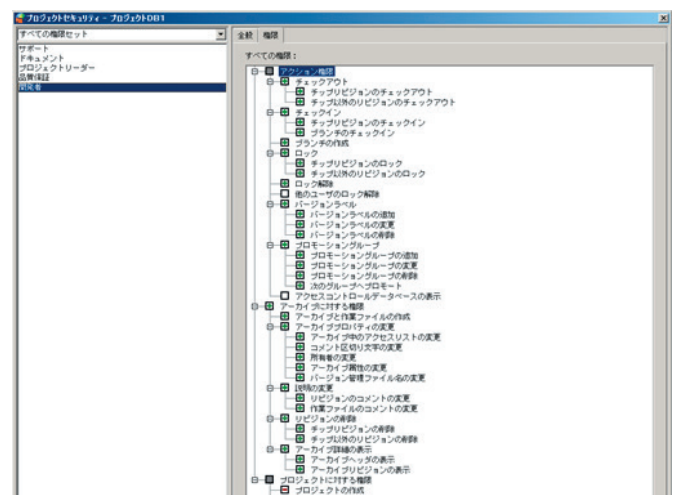
PVCS Version Manager は、いつ、だれが、何をしたかを記録します。ファイルに対して実行したアクションの記録だけでなく、ユーザー、グループ、権限などに対する管理上の操作に関連したログも記録します。これらのログは、開発プロジェクトがコンプライアンスや CMMI（能力成熟度モデル統合）、ソフトウェア安全基準などの各種規格に準拠する際に必要な監査にも利用できます。

4. 様々なインターフェイスの提供と複数の利用環境をサポート

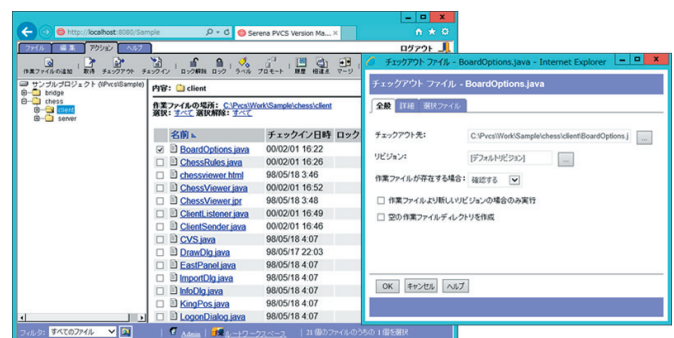
PVCS Version Manager はデスクトップクライアントのほか、Web クライアントインターフェイスやスクリプト（コマンドライン）、統合開発環境（IDE）など、様々なインターフェイスを提供します。海外のユーザーとファイル資産を共有する場合には Web クライアントインターフェイス、一連作業の一括処理やカスタマイズはスクリプトといったように、環境や目的に応じて選択できます。エンドユーザーは、Windows のみならず、UNIX、Linux から利用可能です。



バージョン管理画面



柔軟な権限の割り当て機能

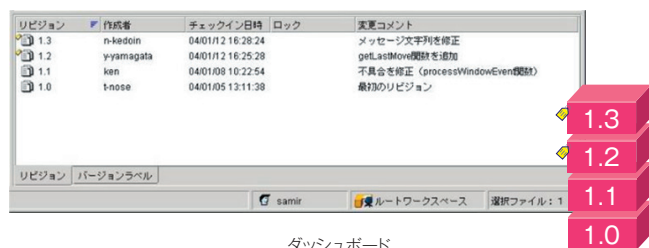


Web クライアントインターフェイス

主な機能

1. 直観的な操作でバージョン管理を実現

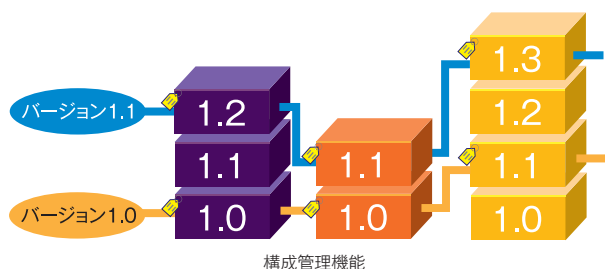
Windows エクスプローラーに準じたUIにより、直観的な操作でバージョン管理を行うことができます。シンプルなバージョン管理だけでなく、コマンドラインを利用して一連の操作をバッチ処理することもできます。



ダッシュボード

2. 構成管理機能

スナップショットを保管するためのベースラインを内包しており、任意のバージョンに関係する全てのファイルを検出できます。また、分岐による別バージョンのソフトウェアの開発と管理にも対応しており、複数バリエーションの並行開発が行われるソフトウェアにおいても、体系的な構成管理が行えます。



構成管理機能

3. リポジトリ情報を管理する VM File Server

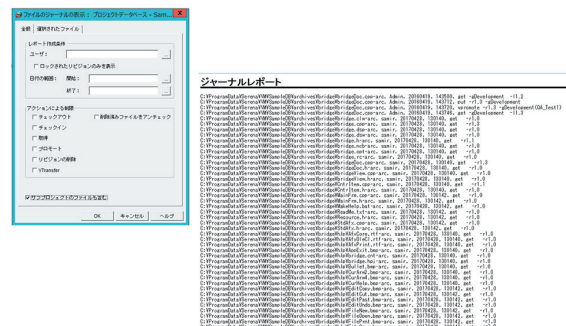
PVCS Version Manager には、リポジトリのファイルに関する論理情報と物理情報を管理するVM File Serverというコンポーネントが組み込まれています。これにより、リポジトリを別サーバーへ移動する手順をシンプルにし、別サーバーに同様の環境を構築できます。また、ファイルへのアクセス権をVM File Serverで管理し、リポジトリの安全性を確保します。

4. 強固なセキュリティ

ユーザー、グループに対しての権限の割り当てと、ロールに相当する権限の集合を定義できます。また、VM File Serverを利用することで、エンドユーザーが直接ファイルにアクセスせずに作業を行うことが可能になり、ヒューマンエラーの発生を抑制します。これらを組み合わせることにより、ソフトウェア開発の資産を強力に保護する環境を構築します。

5. フレキシブルなレポート、ログ機能

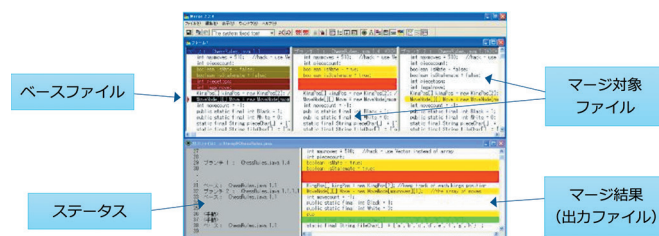
ファイルに対する操作を日付やユーザーなどの条件で指定し、任意の情報を検出、レポートに出力します。また、ユーザーに関する情報や、グループやプロジェクトに対する操作も記録します。



フレキシブルなレポート、ログ機能

6. ファイルの比較、マージ

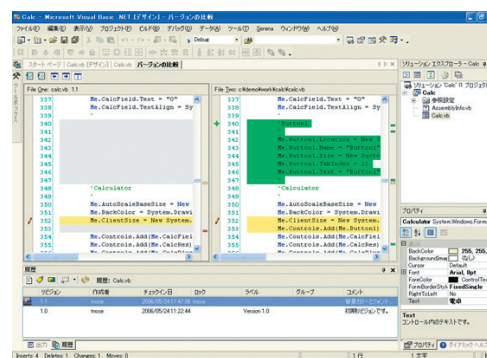
PVCS Version Manager は、ファイルの比較とマージ機能を包含しています。マージ処理はビジュアルに確認しながら実行できます。また、競合部分を自動認識し、比較しやすい画面で提示するので、簡単に適切なコードを選択し、解決できます。そのほか、WinMergeなどの使い慣れたマージツールを呼び出して使用することも可能です。



ファイルの比較、マージ

7. 統合開発環境 (IDE) からの利用

Visual Studio や、Eclipse などの統合開発環境 (IDE) 向けのプラグインを提供します。使い慣れたIDE から直接操作ができるので、ストレスなくスムーズに使用できます。



統合開発環境 (IDE) からの利用

8. プロセス管理ツールと連携

プロセス管理ツールSolutions Business Managerと連携ができます。これにより、発生した不具合や改善要求に対して、誰がどのファイルを改修したのかなど、すべての操作が自動的に履歴として保管され、開発プロセス全体の可視化が実現します。